【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2011-153514(P2011-153514A)
【公開日】平成23年8月11日(2011.8.11)
【年通号数】公開・登録公報2011-032
【出願番号】特願2010-270044(P2010-270044)
【国際特許分類】
Ｅ０３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０３Ｆ　5/04　Ａ
Ｅ０３Ｆ　5/04　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成23年8月19日(2011.8.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
排水溝ブロック１を敷設して形成される排水溝の改修方法であって、改修対象となる前記排水溝ブロック１のブロック上部１Ａに生じた欠損箇所Ｄを、コンクリートやモルタルなどの修繕用部材３で修繕し、その後、前記修繕箇所を含むブロック上部１Ａを該ブロック上部１Ａの表面形状と同形状の被覆板体２で被覆することを特徴とする排水溝の改修方法に係るものである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、請求項１記載の排水溝の改修方法において、前記排水溝ブロック１として、開口窓１ｅを有する天壁１ｄの左右に側壁１ａが垂設され、前記開口窓１ｅの夫々の内面には蓋体４を載置する蓋体載置段部１ｃが設けられた断面逆Ｕ字状の排水溝ブロック１を採用し、前記被覆板体２は、前記天壁１ｄの上部外面，頂面，前記開口窓１ｅの蓋体載置段部１ｃまでの内面，前記蓋体載置段部１ｃ及び前記蓋体載置段部１ｃから下方所定位置までの内面を被覆する形状であることを特徴とする排水溝の改修方法に係るものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
排水溝ブロックを敷設して形成される排水溝の改修方法であって、改修対象となる前記排水溝ブロックのブロック上部に生じた欠損箇所を、コンクリートやモルタルなどの修繕用部材で修繕し、その後、前記修繕箇所を含むブロック上部を該ブロック上部の表面形状と同形状の被覆板体で被覆することを特徴とする排水溝の改修方法。
【手続補正４】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
請求項１記載の排水溝の改修方法において、前記排水溝ブロックとして、開口窓を有する天壁の左右に側壁が垂設され、前記開口窓の夫々の内面には蓋体を載置する蓋体載置段部が設けられた断面逆Ｕ字状の排水溝ブロックを採用し、前記被覆板体は、前記天壁の上部外面，頂面，前記開口窓の蓋体載置段部までの内面，前記蓋体載置段部及び前記蓋体載置段部から下方所定位置までの内面を被覆する形状であることを特徴とする排水溝の改修方法。